



平成 28 年 2 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社モスフードサービス  
代表者名 取締役会長 兼 取締役社長  
櫻田 厚  
(コード：8153 東証第 1 部)  
問合せ先 常務取締役執行役員  
中村 栄輔  
(TEL. 03-5487-7371)

### 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2016 年度を初年度とする 3 年間の中期経営計画を策定しましたのでお知らせいたします。

#### 1. 中期経営計画の策定について

当社グループは、「人間貢献・社会貢献」の経営理念のもと、「感謝される仕事をしよう」という創業の心を大切に、経営ビジョンの「食を通じて人を幸せにすること」の実現に一貫して取り組んでおります。

本中期経営計画は、当社グループを取り巻く厳しい経営環境を踏まえ、量から質への転換を図りつつ堅実な成長を目指すため、2016 年度から 2018 年度の 3 年間の経営目標、基本戦略を明確に示し策定いたしました。

#### 2. 中期経営目標 (2016 年度-2018 年度)

「日本発のフードサービスグループとして世界ブランドになる」を長期の経営目標として以下の中期経営目標を定めました。

- ・モスの価値観（経営理念・創業の心）を共有した本部と加盟店の強い絆を基盤として、地域密着型で上質な価値を提供するモス型 FC システムを更に磨きあげ、本部・加盟店の利益体質を強化するとともに、モスバーガーブランド（お客さまとの約束・他社との違い）を盤石にします。
- ・日本発の食文化の価値を強みとしてグローバル展開の基礎を確立します。
- ・モスグループの経営ビジョンに適合した、モスバーガーに次いで中核となり得る新ブランドを確立します。

2018 年度 店舗売上目標

国内モスバーガー事業全店売上高	1,063 億円
海外モスバーガー事業全店売上高	259 億円
その他飲食事業全店売上高	53 億円
合計	1,375 億円

2018 年度 経営目標 (連結)

売上高	739 億円
営業利益	38 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	23 億円
営業利益率	5.1%
ROE	5.0%

### 3. グループの基本戦略

#### 基本戦略：差別化と地域との共創

モスグループは、常にその存在意義を確認し、他社とは違う価値を、食を通じて提供します。(差別化) そのことにとどまらず、地域になくってはならない存在になることを意識し、地域社会の一員として何ができるかを考え行動します。(地域との共創)

#### 経営ビジョンを達成するための3つの行動宣言

- ▶ 「食文化創造宣言」～抜群なおいしさを常に追求し、おもてなし・高品質な素材と味・安心安全を兼ね備えた日本発の食文化を創造します。
- ▶ 「お客さま中心宣言」～「売り手視点」ではなく「お客さまにとっての当たり前+事前期待を超える視点」を追求します。
- ▶ 「価値創造宣言」～グループ経営における選択と集中を行い、スピード感をもって世の中の変化に対応する価値を創造します。

### 4. セグメントごとの戦略

#### [国内モスバーガー事業]

骨太の方針 “おいしさ、安心安全、利便性、店舗体験価値、輝く人、多様性”

- (1) 「変化対応力」多様化するニーズへの対応
- (2) 「加盟店サポート強化」スーパーバイザー強化
- (3) 「堅実な成長」出店・改装の促進

#### [海外モスバーガー事業]

- (1) 既存進出国の成長戦略
- (2) 新規国への進出
- (3) グローバルな人材体制と組織の構築
- (4) グローバル商品供給システムの構築

#### [その他飲食事業]

- (1) 3年以内のFC展開拡大を前提とした既存新規事業の経営基盤再構築及び事業採算性の改善
- (2) 社内インキュベーションプロジェクトの推進によるR&Dの継続実施と成長可能な事業の創出
- (3) M&Aの検討/実施及び基本スキームの確立
- (4) 新規事業の海外展開の可能性検討と地域別前提条件の見極め

### 5. 株主還元の基本方針

当社は業績や経営環境との連動を図りつつ安定的な利益還元を継続することを基本方針としています。また株主の皆様との対話機会の創出に積極的に取り組んでおります。

以 上

※ 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は予想数値と異なる場合があります。